

長久手市地域協働計画策定 第一回ワークショップのレポート

長久手市くらし文化部たつせがある課
令和4年5月発行

5回シリーズの長久手らしい協働のかたちづくりが始まりました。自己紹介では「昼、何を・何のために・どうやって食べた？」を語り、多くの目的があることを理解し、創造的な未来を創る言語「パターン・ランゲージ(協働カード)」を使い「新しい視点・新しい方法をつくる施策の旅」を語り合いモヤモヤを楽しみました。次に未来の協働を各市民の立場になって考え、コンセプトを仮決めしました。

＜ワークショップの概要＞

- ・日時、場所 5月15日(日)13:30～16:30 長久手市まちづくりセンター集会室①
- ・テーマ 「簡潔でゆったりとしたつながりで、長久手の小さな課題に取り組み、協働のつぼみを作る・地域協働計画を策定する」
- ・ワークショップの目標 「地域協働計画策定に必要な要素を抽出する」
- ・今回の目標 「協働のコンセプトを決める(仮決定)」
- ・参加者 18名(男9名・女9名)〈在住 5、在活 4、在勤 2、在学 3、職員 2、スタッフ 2〉
- ・内容 アイスブレイク⇒協働のイメージを共有する⇒地域協働計画のあらまし⇒協働のコンセプトを問い直す⇒市民の立場で考える⇒コンセプトを決める(仮決定)⇒宿題・アンケート・ほか
- ・実施したこと
 - ①協働のイメージを共有する

協働の経験を語り合う

協働カードをつかって、協働について共有する

- ・パターンカードをシャッフルして、一人当たり3枚のカードを配る
- ・残りは山にしてテーブルの真ん中に置く
- ・配られたカードを読み、自分が経験したカードを選び、その経験談を語る
- ・語り終わったカードは、皆さんが読めるように置く
- ・配られたカードに経験したことがなかったら、別のカードを山の中から引く

コラボレーション
パターンカード



3グループで対話

- ・パターンカードで協働の経験を語り合えた
- ・他人の立場に立つ、難しいなあ
- ・4市民をマンダラで発散した
- ・マンダラの中心に長久手らしい協働をイメージした

②協働のコンセプトを問い直す(目的展開)

目的展開



市民が協働するのは何のため

1. XXを～する
2. 大中小に分ける
3. 間を埋める

③市民の立場で考える

長久手市民



④未来の協働のコンセプト

未来の協働の
コンセプトを決める

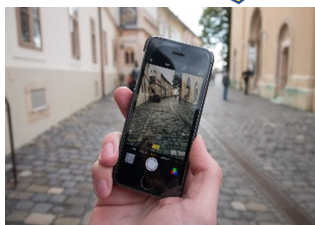
仮決定



⑤協働のコンセプトを仮決定



宿題：長久手で気になること、スマホ撮影5枚



次回(6月19日(日)13:30～16:30)は、
「**長久手のペルソナを作成する**」
会場：文化の家
1部：まざって長久手フェスタ
13:30～14:30 講演 協働のメカニズム
(*** 申込はたつせがある課が行います**)
2部：地域協働計画策定 WS
14:30～16:30 ワークショップ(美術室)